

私立大学図書館協会 2008 年度第 1 回常任幹事会議事要録

1. 日 時 2008 年 4 月 11 日（金） 午後 2 時 30 分～午後 5 時 10 分
2. 場 所 中央大学多摩キャンパス図書館 2 階会議室
3. 出席者 出席者名簿参照（当日配布）

議事に先立ち、会長校中央大学図書館の古城館長（議長）より挨拶の後、出席者の自己紹介があった。

<報告事項>

1. 会務報告

(1) 新規加盟校数について

会長校中央大学（荒木）より、配付資料（ p.3）に基づき報告があった。

- 1)2007 年度加盟校数は、2007 年 4 月 1 日現在、東地区 252 校、西地区、254 校、合計 506 校である。
- 2)2008 年度新規加盟校（予定）は、本日、北陸学院大学の加盟申込書を西地区部会長校から受領したとの報告があったので、2008 年 4 月 11 日現在、東地区 2 校、西地区 2 校、合計 4 校となった。来る総会で承認後、2008 年 4 月 1 日付で正式に加盟校となる予定である。
- 3)2008 年度加盟校数（予定）は、本日受領した分を含めて、東地区 254 校、西地区 256 校、合計 510 校になる予定である。

(2) 加盟館名称変更

2008 年 4 月 1 日現在で、3 件連絡があった。

- ① 北海道東海大学付 属図書館 → 東海大学付属図書館 札幌・旭川図書館
- ② 九州東海大学附属図書館 → 東海大学付属図書館 熊本・阿蘇図書館
- ③ 四天王寺国際仏教大学図書館→ 四天王寺大学図書館

(3) 加盟校への書類等の送付について

会長校中央大学（荒木）より、配付資料（ p.3）に基づき、報告があった。

① 4 月 1 日付発送

私立大学図書館協会会費および加盟大学在学学生数調査に関する書類
2008 年度暫定予算の執行について
第 69 回総会への議題・承合事項の提出について
国際図書館協力基金による私立大学図書館協会加盟図書館
2008 年度第 1 回寄贈資料搬送事業実施について（ご案内）

加盟図書館名簿記載事項変更届

協会ホームページについて（お知らせとお願い）

国公立大学図書館協力委員会からの連絡（「大学図書館協力における資料複製に関する利用許諾契約書」の更新について）

② 4月8日付発送

平成20年度大学図書館職員長期研修の開催について（通知）

(4) 会報の刊行について

会長校中央大学（荒木）より、会報 129号について、総会特集号として2008年3月8日に刊行したとの報告があった。

2. 委員会報告

(1) 国際図書館協力委員会報告

会長校中央大学（荒木）より、配付資料（p.4）に基づき、報告があった。

3. 協会関連事項報告

(1) 国公立大学図書館協力委員会報告

会長校中央大学（荒木）より、「著作権啓発ポスター」に関する報告があった。

(2) 日本図書館協会報告

1) 会長校中央大学（工藤）より、配付資料（p.4）に基づき、報告があった。

2) 国公立大学図書館協力委員会においても、日本図書館協会との関係をどのようにしてゆくのかという問題が提起されていることを確認した。

3) 当協会から派遣している施設会員評議員の評議員会への出席については、各校の判断に委ね、しばらく状況を見ることとした。

4. 2008年度協会役員校、委員会および協会関連団体委員について

会長校中央大学（荒木）より、配布資料（p.5）に基づき、報告があった。

5. 協会ホームページサーバ移行作業について

会長校中央大学（荒木）より、配布資料（p.8）に基づき、報告があった。

6. 「協会HP有料サイト利用料」の支払いについて

会長校中央大学（荒木）より、配布資料（p.8）に基づき、報告があった。

7. IFLA退会手続きについて

会長校中央大学（荒木）より、配布資料（p.8）に基づき、報告があった。

8. 2008 年度行事・会議予定

会長校中央大学（荒木）より、配付資料（ p.9）に基づき、報告があった。

<協議事項>

1. 2007 年度一般会計・特別会計決算報告書（案）について

会長校中央大学（荒木）より、配付資料（ p.10-13）に基づき、東西合同 役員会以降に変更および確定となった箇所を中心に説明があった後、同決算について、2007 年 4 月 4 日付で監事校である駒澤大学ならびに龍谷大学からの監査報告書が提出されたとの報告があった。なお、監査報告書の文言について、来年度の報告書に向けて検討することになった。

協議の結果、異議なく了承された。

2. 2008 年度事業計画（案）について

会長校中央大学（荒木）より、配付資料（ p.14-17）に基づき、3 月の東西合同役員会に提案されたものから変更は生じていないとの説明があり、協議の結果、異議なく了承された。

3. 第 69 回（2008 年度）総会・研究大会について

協議の結果、異議なく了承された。

(1) 会長校中央大学（荒木）より、配付資料（ p.18）に基づき、第 69 回 2008 年度総会・意見交換会・研究大会の運営案について、説明があった。

(2) 前回東西合同役員会では、昼食会開催としていたが、その後会長校、総会当番校と協議し、その時間帯については、新図書館施設、インフォデスクを見学する時間と位置づけ、昼食会も行わないこととした。

(3) 来賓について、N I I に依頼し、学術基盤推進部長の出席の回答が来ているとの報告があった。

(4) 協議事項 2. 2008 年度事業計画（案）では、総会・研究大会テーマが、「大学図書館と大学博物館・大学文書館との連携」となっており、協議事項 3. では、「大学図書館と博物館・文書館との連携」となっているとの指摘があり、会長校が総会当番校に確認することとした。

（4 月 14 日に、「大学図書館と博物館・文書館との連携」であることを、総会当番校に確認した。）

4. 2008 年度一般会計・特別会計予算（案）について

会長校中央大学（荒木）より、2007 年度決算の数字が確定したことを受け、東西役員会において承認されたものにこれを反映させた。については、本予算

(案) (配付資料p.19-22)を確定したいとの提案があった。

協議の結果、異議なく了承された。

5. 2008 年度研究助成について

会長校中央大学(荒木)より、配付資料(p.23)に基づき前回の東西合同役員会で採否保留となっていた1件について採択する旨の研究助成委員会報告と、提案があった。

協議の結果、異議なく了承された。

6. 「役員活動費」運用内規(修正案)について

協議の結果、異議なく了承された。

- (1) 会長校中央大学(荒木)より、2003年4月18日常任幹事会で提案された本内規について、役員校から使用用途について問い合わせがあったことから、これまでの運用を明記することとしたとの説明があった。
- (2) 対象となる会議、行事等については、総会当番校引継打合せ、西地区部会研究会運営委員会も対象になるのではないかとの意見があった。これに対しては、「以下のものを主とする」として記述された1)~7)で当面对応することとした。
- (3) 運用について
以下の方法を確認した。
 - 1) 配分された「役員活動費」の執行については、銀行口座を設けて執行するか、大学会計へ戻入するかは、各役員校の判断に委ねることとした。
 - 2) 支出については、これまで通り年度末に支出報告を提出する。なお、証憑(領収書等)については、出欠の記録が明確になっていること、交通費等は領収書取得が難しいものもあることから、提出不要とした。

<懇談事項>

1. 次期役員校、総会当番校、委員会委員の選出について

- (1) 役員校については、任期中に次々期まで決めて行くこととしていることから、前回東西合同役員会以降の状況について確認したが、東・西地区部会長校からは、進捗は無いとの回答であった。
- (2) 委員会委員について、資料(30-34)に基づき、会長校から説明があった。
- (3) 委員の選出については、出張費予算を各校で確保する必要があることから、10月までを目途に確定することとした。については、東・西地区部会長校へ会長校から報告の依頼が行われた。

2. 大学図書館の評価基準について

(1) 会長校中央大学より以下の説明があった。

- 1) 2月26日(火)に行われた国際シンポジウムで、評価基準として LibQUAL の紹介があった。
- 2) 今後着手する大学図書館が出てくると思われるので、何らかの提示を当協会で見せないかと考えている。出席者からの意見を伺いたい。

(2) 提示された意見

- 1) アメリカで作成された基準をそのまま持ち込んでも、財政基盤など環境が異なることから、日本には適合しない可能性もある。
- 2) 評価基準について、問題提起する価値はあるものと思われる。
- 3) 1999年に「自己点検・評価手法ガイドライン」を協会で作成したことがある。その際には、作成委員会が組織された。
- 4) 各大学により状況が異なることから、評価基準を統一するのは難しいと思われる。
- 5) 所属大学が認証評価で使用する機関から示された図書館に関する評価基準は、概括的なものであった。
- 6) これまでの評価基準は、数のみの基準が主であったように思われる。

(3) 今後の対応について

当協会で行う取り組みの意義について、本日特段の反対の意見はなく、理解が示されたことから、次回東西合同役員会でも会長校から、問題点等を提示していくこととした。

以上、すべての議事を終了し、議長が閉会を宣した。

<資料訂正>

<誤>

<正>

- | | | | |
|-------|--------------------------------|---|-----------------------------------|
| p. 11 | (2) 特別会計 予算 (A)、決算 (B) | → | 予算 <u>額</u> (A)、決算 <u>額</u> (B) |
| p. 14 | (1) テーマ: 「大学図書館と <u>大学</u> 博物館 | → | 「大学図書館と <u>博物館</u> ・ <u>文書館</u> と |
| | の・ <u>大学</u> 文書館との連携」 | | との連携」 |
| p. 28 | (3) 3) 各地部会総会 | → | 各 <u>地区</u> 部会総会 |